

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭61-145119

⑤ Int. Cl.

識別記号

庁内整理番号

④ 公開 昭和61年(1986)9月8日

F 16 C 29/06  
B 25 J 5/02  
B 65 B 35/00  
57/04

6608-3J  
7502-3F  
7726-3E  
7234-3E

審査請求 未請求 (全3頁)

⑭ 考案の名称 同期装置

① 実 願 昭60-28936

② 出 願 昭60(1985)2月28日

⑯ 考 案 者 中 國 朝 雄 大阪市東区玉造1丁目2番28号 三田工業株式会社内

⑰ 考 案 者 藤 井 克 範 大阪市東区玉造1丁目2番28号 三田工業株式会社内

⑱ 出 願 人 三田工業株式会社 大阪市東区玉造1丁目2番28号

⑲ 代 理 人 弁理士 本 庄 武 男

⑳ 実用新案登録請求の範囲

(1) (a) 筒部と、この筒部内に挿入される軸部。

(b) 上記筒部の内側に装着され上記軸部を摺動可能に支持する軸受。

(c) 上記軸部又は筒部の外周面に形成された軸方向に延びるラック。

上記(a)~(c)の構成要素を具備してなる一対のガイド機構を平行に配設すると共に、上記ガイド機構の軸芯に直角に配設した回転軸に一対のギアを固定し、各ギアをそれぞれ前記ラックに噛み合わせてなることを特徴とする同期装置。

(2) 前記軸受が開放型直線軸受である実用新案登録請求の範囲第1項に記載した同期装置。

(3) 前記ラジアル軸受が開放型リニアボールベアリングであり、上記筒部に形成された軸方向の開口部に上記開放型リニアボールベアリングの開放部を対応させ、且つ上記開放型リニアボールベアリングで支持される軸部に形成したラックと上記開口部に挿入したギアとを噛み合わせてなる実用新案登録請求の範囲第1項に記載し

た同期装置。

図面の簡単な説明

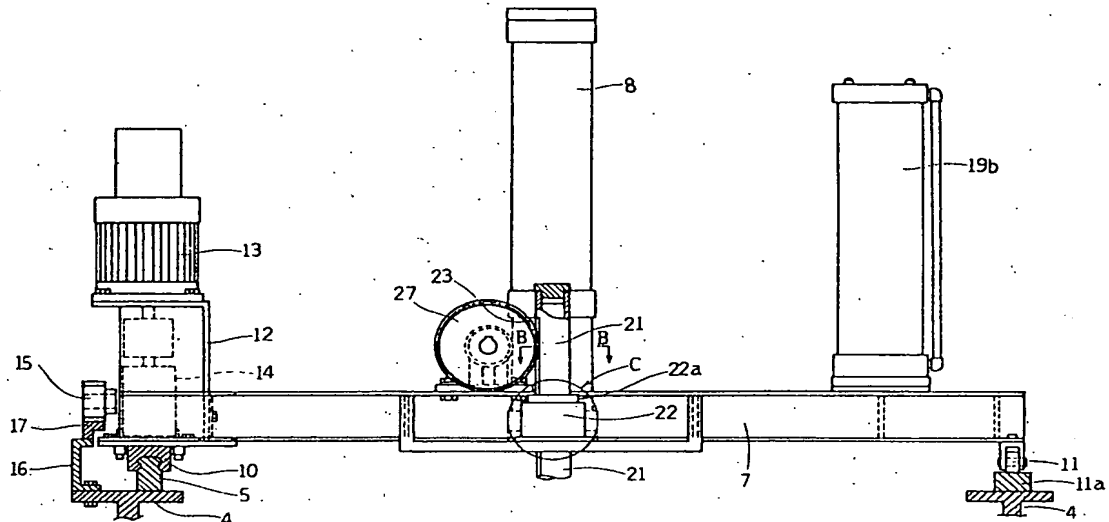
第1図は本考案の一実施例にかかる複写機移載装置全体の概略正面図、第2図は第1図に矢印Aで示す移載装置本体フレームと昇降駆動手段の正面図、第3図は第2図に示した装置の側面図、第4図は第3図の平面図、第5図aは第3図におけるB-B矢視断面図、同図bは第3図におけるC部部分断面図、第6図は同実施例に用いるリニアボールベアリングにガイドロッドを差し込んだ状態を示す斜視図、第7図は同リニアボールベアリングの正断面図である。

(符号の説明)、7…移載装置本体フレーム、8…油圧シリンダ(昇降駆動手段)、18…ピストンロッド、20…フォーク支持フレーム、21…ガイドロッド(軸部)、22…ガイド円筒(筒部)、22a…開放型リニアベアリング、22b…開放部、23…ラック、24…切り欠き(開口部)、26…回転軸、27…ギア。

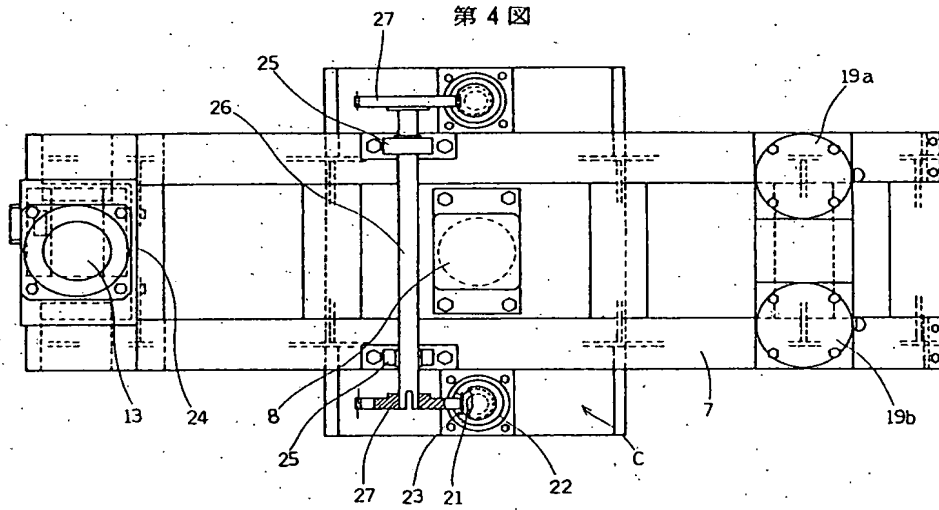


実開 昭61-145119(3)

第3図



第4図



第5図

